

株式会社関東製作所

**プラスチック用金型製造企業が警備業で新たな価値を創造。
隣接領域にとらわれない発想が、未来を切り開く。**

株式会社関東製作所は、東京都江東区森下に本社を置く創業77年の製造業者です。

元々はガラスの金型製造からスタートし、その後、プラスチック金型成形を主事業としています。

特にブロー金型（製品が中空構造になっているものに用いられる成形方法）において国内シェア約8割を誇り、自動車産業向けを主に、介護ベッドやお風呂のエプロンなど、様々な製品に技術が活用されています。

近年ニーズの高い省人化ロボットは、17年前から製造しています。

製造分野での高い技術力と国内外に広がるネットワークを強みに業界を牽引する同社が、本事業への参加を通じて、どのような企業変革に着手したのか、取締役 渡邊 和恵 様にお話を伺いました。

企業名：株式会社関東製作所

住所：東京都江東区森下5-18-13

代表者：渡邊 章

企業HP：<https://kanto-seisakusyo.jp/>

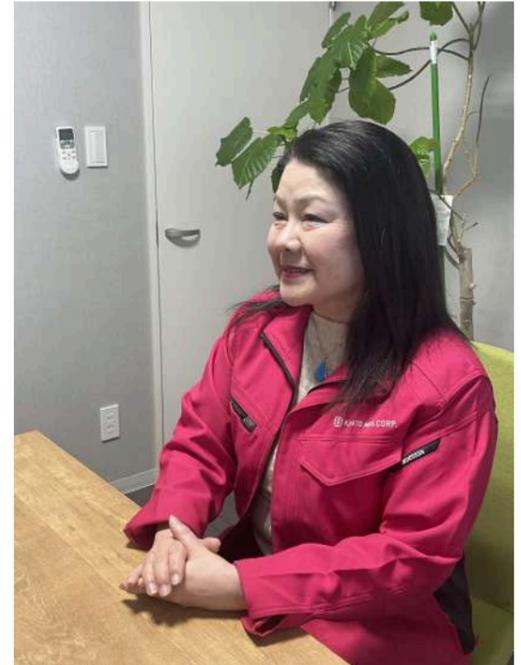
本記事にてご紹介している新規設立法人

企業名：株式会社日本警備スタッフ

住所：愛知県名古屋市西区上小田井2-116 （株関東製作所 名古屋支店内）

代表者：渡邊 章

企業HP：<https://nkstaff.com/>



株式会社関東製作所 取締役 兼
株式会社日本警備スタッフ 取締役 渡邊 和恵 様

Q. どのようなきっかけで本事業に参加しましたか。

A. 主事業にて多くのシェアを占める自動車産業の見通しが立ちにくく、製造業の枠を超えた新たな事業領域への進出を模索していました。

参加前には、未だ新規事業の構想はありませんでしたが、事務局からの「新しい産業を見つける上でヒントになるかもしれない」というアドバイスも参加を後押ししました。

時流にあった考え方を学び、アドバイザーとの伴走やセミナー、ワークショップで段階的に気づきを得られる長期型の本事業は最適だと考え、参加を決意しました。

Q. 貴社の取り組みに対してどのような支援がありましたか。

A. スクールでの学びを生かし、警備業という全くの異業種への参入を決断しました。

スクールで「隣接産業への進出が成功しやすい」という学びがあった一方で、サービス業の魅力を感じるきっかけとなりました。

既に、部品加工事業、成形事業、省人化ロボット製造といった隣接産業には進出しており、あえて、サービス業である警備業に活路を見出すことにしました。

警備業を選んだのは、社会との関係を直接体感できること、また製造業と比べて初期投資が少なく早期に事業を開始できると考えました。市場分析を行い、優位性が高く、プロジェクトメンバーも揃えることができる名古屋に、別会社を設立しました。



Q. 本事業に参加して得た成果はありますか。

A. 【株式会社日本警備スタッフ】という新会社を設立しました。

業務内容は2号警備で、人々の安全を守るため、工事現場などでの交通誘導警備業務や、イベント会場などで雑踏警備業務を行っています。

新規事業を立ち上げる過程で、各人の個性や強みを理解することの重要性にも気付きました。



実際の警備現場写真

また、これまでバックオフィス業務を担っていた総務部門のスタッフも、新規事業を兼任し、フロント業務に携わってくれています。「自分たちが会社の成長を支えている」という貢献の実感が持てることで、モチベーションアップにつながっているようです。新規事業の立ち上げにより、単なる事業の多角化に留まらない、組織全体の活性化と意識改革という大きな成果を得ました。

アドバイザーからは、経営理念の策定から社員の定着率向上まで、多岐にわたるきめ細やかな支援を受けながら、業界参入に向けた具体的な道筋を描いていきました。伴走支援の定期訪問を活用して、課題を保留にしないことで、スピーディーに事業が立ち上がり、実際に売上を上げることができました。

また、スクールでは、初めて異業種の方々と一緒に勉強をしました。参加企業は、社歴や年齢層も様々でしたが、共通の課題を抱えていたため、とても有意義な意見交換ができました。スクールで取り組んだ、社内で起こる問題を想定したケーススタディも、ちょうど自社で抱えていた問題と内容が類似しており、多くの意見を学ぶことができたことが印象に残っています。

Q. 今後の展開について教えてください。

A. 株式会社関東製作所と株式会社日本警備スタッフで、人の相乗効果を生むことを考えています。

例えば、関東製作所を定年退職したスタッフの継続雇用や、時間給で働く社員のダブルワーク先としての活用などを検討しています。多様な人材が活躍できる雇用形態を確立することで、雇用の創出を通じて社会貢献ができればと考えます。

そのために、経営理念に基づいた社員の定着および増員と、数値分析による、正確な計画の策定と実行を目指します。

異業種での新たな挑戦となりましたが、今回の事業を通じて得られた経験やノウハウを活かし、多くの施策に挑戦することで、持続的な成長を目指していきます。



アドバイザーからのコメント

製造業で長年実績のある企業ですが、警備業への進出を決めたとお聞きしたときは驚きました。しかし、業界についても十分に学ばれ、事業化されたいという強い想いを感じ、私も一緒に学びながら支援をさせていただきました。

当社の経営理念の中には「人間重視」という項目があり、「人を大切に」「雇用を拡大」という文言があります。一般的に、警備業界は人の定着率が低く、沢山採用して沢山辞めていくのが当たり前とされていました。当社には、なんとか人を大切に、定着率を上げる方向を目指していただきたいと思っていました。渡邊取締役も同様のお考えであり、ご支援や対話を通じ、新会社においても人間重視の企業理念を納得の形で作成されたと伺い、嬉しく感じております。

定期訪問のたびに事業が前に進んでいて、前向きな行動力、組織力が素晴らしい企業だと感じていました。難易度が高いと言われる製造業からのサービス業への「多角化」ですが、当社にとって重要な事業に育てていかれることを、心より応援しています。